できる・できる・できる

入場制限なし 四年ぶりの体育大会 全力を出し切りました

令和五年五月十四日、四年ぶりに入場制限をかけず、保護者の皆様、地域住民の皆様、大浦小学校の校長先生、長崎南高校の校長先生をはじめご来賓の皆様を招き、たくさんの方々に生徒の応援をお願いした体育大会が実施できました。

今年の体育大会のテーマは、「梅中しんか（進化・深化・新化）できる・できる・できる～一人一人が全力で！～」ということもあり、制限なしの四年ぶりの体育大会に全力を出し切ることができました。

スタートは得点種目の「入場行進」紅組、黄組、そけぞれリーダーを中心に、練習を積み上げてきました。今年は、マスクを外し、「一・二、一・二」の掛け声を出しながらの堂々の行進。練習の時には、手と足が一緒になってしまうことがあった生徒も堂々とした行進ができました。

次は巻頭言。これまたマスクを外した全校生徒の勇ましい声。大浦の地に響き渡り、地域住民の皆様に熱気を届けることができました。

走競技に入ってからも、テントからの大きな声援が追い風となり、生徒たちは自分の力を十二分に発揮しました。

最初の練習段階で心配の多かった一年生の学年種目「台風の目」も、練習を重ねるごとにうまくなり、本番では、レベルの高い争いを見せてくれました。

そして、フィナーレの「梅中ソーラン節」。審査員の立場と、写真撮影のための生徒に一番近いところから生徒の動きを見ましたが、動きとともに生徒の表情に感動しました。体力と筋力の差がある中で一人の生徒も手を抜くことなく、最高の演技を目指し歯を食いしばって踊りぬきました。足が震えていても踏ん張り、倒れても立ち上がり、見ていて涙が出てきました。

閉会行事で野口大会実行委員長のかけ合いのもと「できた・できた・できた」とこぶしを突き上げ、大声を出せたことが大会の一番の評価となりました。

早朝から会場設営にあたった大勢の生徒、後片付けに積極的に加わった梅中卒業生の姿も合わさり、「やはり、みんなは私の自慢の生徒」、そう思える、喜びいっぱいの体育大会を終えることができました。

発行者
長崎市立梅香崎中学校
校長　髙坂　英晃
HP:www.nagasaki-city.ed.jp/umegasaki-j
TEL095-824-4997
FAX095-822-4412

大雨に備えて「避難情報」の確認を

今年も大雨への対策が必要な時期となりました。先月に学校で行った避難訓練の際にも、大雨に備え、避難情報の得方について確認をしました。大雨等による居住地域への「避難指示」（警戒レベル４）等の発令に係る対応について生徒に指導しています。

保護者の皆様におかれましても、ご家庭であらためて警戒レベル４等の発令に係る対応についてお子様にご確認願います。

【確認事項】

○居住地域（梅中校区は中央地区）に避難指示が出た場合は、「自宅待機または避難所に避難」

※平日の朝に避難指示が出た場合は、絶対に学校に登校しないということを確認ください。

・・・・・・・・・・・・

避難訓練のたびに生徒に東日本大震災時の「釜石の奇跡」の話をして確認します。それは、「中学生は、命を守る側の人」だということです。岩手県釜石市の三千人近い小・中学生のほぼ全員が避難し、奇跡的に無事だったのはどうしてか、日ごろからの訓練の成果、想定にとらわれすぎず、状況に応じて適切に判断する学習を深めた成果から、小学生の手を引き、高台に向かう中学生の様子が何度も報道されました。

災害発生の危険が迫る状況に置かれた時、適切に判断できる梅中生になってほしいと思っています。学校が発出する安全・安心メールを見てからでは遅すぎる場合もあることを知り、まず、必要な情報を自分で得れる中学生になってほしいと思います。「もしもの備え」ご家庭でもよろしくお願いします。